

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員15名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「星と出会う日々 ～本田実物語～」を投影しています。

テーマ番組①・オリジナル番組「星と出会う日々～本田実物語～」9月13日まで投影中

☆4Kリマスタリング版

鳥取県出身で、世界的な天体発見者だった本田実さんの生涯を描いたプラネタリウム番組です。（さじアストロパーク・オリジナル作品を、4Kデジタル作品としてリメイクしました）

テーマ番組②・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」

9月16日から投影

ハッブル宇宙望遠鏡が打ち上げられて、2020年で30年となりました。プラネタリウム番組でハッブル宇宙望遠鏡の30年の歴史を振り返りながら、これまでの成果や美しい宇宙の姿をご紹介します。



2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員15名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を15名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。個人の方（お一人からご予約できます）は前日まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



9月の注目天体情報

☆見ごろの星座

見ごろの星座は「いて座」と「やぎ座」です。いて座は明るい星が少なく目立たない星座ですが、2020年は木星と土星がいて座の方向にありますので、いて座を見つける目印になります。2021年にはやぎ座の方向に木星と土星が移動します。

☆木星と土星が引き続き見ごろです

私たちの太陽系で最大の惑星が木星、2番目が土星です。2つの巨大惑星が南の空で見ごろです。特に木星はマイナス2～3等級ですので、どの星座の星よりも明るく輝いています。

☆夏の天の川もまだまだ見ごろ

日没が早くなってきたので、星も早い時間帯から見られるようになりました。さそり座は南西の空低くなり見えにくくなりましたが、夏の大三角はまだ空高く見られます。9月になってもしばらくは見ごろが続きます。

